

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 眼内 growth differentiation factor-15 濃度の検討

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院・安藤 亮・眼科

[共同研究機関名・研究責任者名] 岐阜薬科大学・中村 信介・薬効解析学研究室

[研究機関の長の氏名]

北海道大学病院 渥美 達也  
岐阜薬科大学 原 英彰

[研究の目的] 眼科手術や硝子体内注射を受けた患者さんのうち、その際に必要があつて前房水や硝子体液を採取した患者さん。その保存している前房水や硝子体液に含まれるタンパク質濃度（主に growth differentiation factor-15）を測定し、疾患ごとにおける growth differentiation factor-15 濃度を調査することが目的です。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2017年1月1日から2026年1月31日までの間に北海道大学病院眼科にて硝子体注射や手術を受けた20歳以上の方のうち、前房水または硝子体液を採取、保存している方

○利用する検体・情報

検体：前房水、硝子体液

情報：診断名、年齢、性別、既往歴、生活歴、臨床検査結果（屈折、視力、眼圧、細隙灯顕微鏡、眼底、画像検査所見）、検体検査結果（growth differentiation factor-15 濃度など）

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。岐阜薬科大学への検体の送付は行いませんが、上記の情報は岐阜薬科大学に、電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日（登録締切日：2026年1月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定

できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院眼科 担当医師 安藤 亮

電話 011-706-5944

[当院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

\_\_\_\_\_病院\_\_\_\_\_科

担当医師：\_\_\_\_\_

住所：\_\_\_\_\_

電話：\_\_\_\_\_ FAX：\_\_\_\_\_